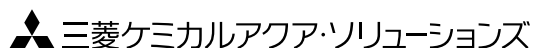


Engineering Front

水から新しい価値を創造し、 KAITEKI 社会を実現する



DATA

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

[本社] 〒141-0032

東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー 10F

[URL] <http://www.mcas.co.jp>

1952 年日本錬水として発足した当社は「水から新しい価値を」をモットーに、イオン交換樹脂ダイヤイオン®を用いた水処理装置、分離精製装置をコアとして事業展開してまいりました。当社は水に係るトータルソリューションの提案強化を目指し、2015 年に当時三菱レイヨン社から浄水・排水処理向け中空糸膜ステラポア®および装置事業を受け入れ、2017 年 4 月からは三菱ケミカル・クリンスイ社より医療用

水機器、業務用人工炭酸性製造設備に係る事業を継承し、さらに事業を拡幅いたしました。

私たち三菱ケミカルアクア・ソリューションズは、各種水処理技術および分離精製技術を通じて、世界の人々の生活をよりよくし、持続可能な「KAITEKI 社会」の実現に向けて貢献していきます。

有機排水処理に初めて膜分離を併用した、 MBR (膜分離活性汚泥法) のパイオニア

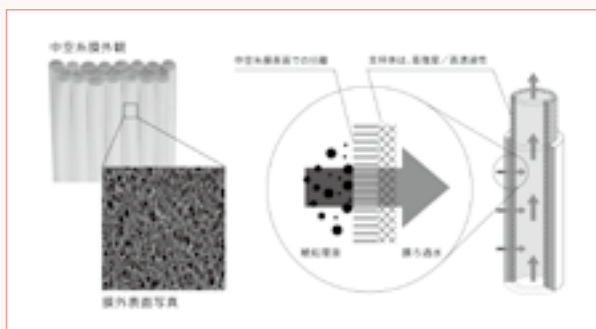
当社は、活性汚泥法と膜分離法を組み合わせることで、省スペースや水質、メンテナンス性を向上させた MBR に世界で初めて分離膜を使用しました。当社 MBR 用分離膜 (ステラポア®) は、中空糸形状のため、コンパクト、省エネルギー、長寿命といった特長があります。

これまで MBR は、その特長を活かして土地制限や水質規制の厳しい場所に多く納入されてきました。

最近では、通常の活性汚泥法を MBR へ改造することで躯体増設なく処理能力を上げることができるため、増水に安価に対応できる方法として、MBR が日本国内でさらに普及しつつあります。

また、海外では水不足への対応として排水を再利用する動きが加速しています。再利用水の使用先も中水道や景観用水から、RO (逆浸透) 膜処理を組み合わせることで飲適可能な水を製造するまでに高度化しており、環境問題を解決する手段として注目されています。

環境汚染防止から水不足解消まで、これからも皆様の暮らしを快適にする製品・技術提供を進めてまいります。



中空糸膜ステラポアの特長

- 多くの膜面積を小さな設置面積に入れられる
- 設置面積が小さいため、膜洗浄面積が減る
- 膜素材 PVDF は耐薬品性が高く、薬品洗浄による劣化が少ない
- 支持層が膜強度をアップし、膜切れを低減

